



春の叙勲

議会改革に尽力

つかさき ただし
塚崎 正 さん (西町)

旭日双光章 (地方自治功労) を受章

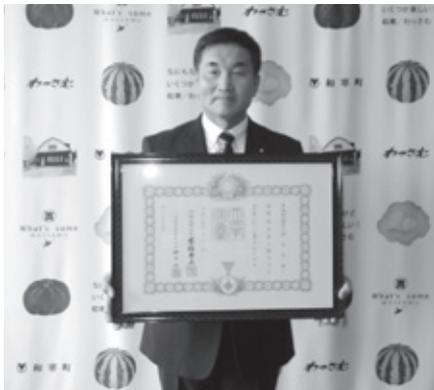
町議会議員として7期28年、地方自治の発展に尽くされた功績が認められ、塚崎正さん(75歳)が旭日双光章を受章されました。

平成3年、46歳で議員に初当選され、議会運営委員長、総務社会文教常任委員長、議員のほかにも国民健康保険運営協議会会長などを歴任されました。また、平成11年5月からと、平成19年5月からの計8年間町議会副議長を、平成23年からは町議会議長を2期8年務められました。

この間、町民の健康と福祉増進や産業の振興に尽力されるとともに、議会改革に力を注がれるなど地方自治の振興にその手腕を発揮し、公正で適切な判断力をもって町議会の運営にあたられ町政の伸展に貢献をされました。

また、議員としての活動に加えて、町商工会会長、町体育協会会長、町防犯協会会長としてもまちづくりに貢献しております。

酒向光雄さんに高齢者叙勲伝達



叙勲を代理で受け取った酒向勤さん

元士別地方消防事務組合和寒町消防団副分団長酒向光雄さんへの高齢者叙勲伝達式が4月22日役場応接室で行われました。

酒向さんは、昭和31年に和寒町消防団員を拝命し、昭和53年には班長、昭和54年には部長へ昇格され多くの火災水害等の災害現場に出動し、町民の生命と財産の保護に活躍されました。

昭和61年には副分団長の任に就かれ、若手消防団員の育成を行うとともに消防団員の資質向上に尽力され、平成4年11月に多くの功績を残し、勇退されました。

酒向さんは現在、町内の福祉施設に入所しており、伝達式には息子さんの酒向勤さんが代理出席され、奥山町長から高齢者叙勲の瑞宝単光章が伝達されました。

第21回三浦綾子作文賞和寒町賞授与

全国の小中高生を対象にした「第21回三浦綾子作文賞」の表彰式が、1月11日旭川市の三浦綾子記念文学館でおこなわれました。この賞は三浦文学を通して、社会のあり方と人間の生き方を深く見つめ、たくましく生きていく力を養っていくことを目的としています。町も共催し、和寒町賞を設け、今回「塩狩峠」を読んだ神奈川県の宮島梧子さん(女子学院高等学校2年)が受賞しました。宮島さんは「犠牲の意義」と題して、自ら盛岡市で東日本大震災を経験した思いと、乗客の命を救った信夫の犠牲死の意義を重ねながら考察してくれました。

作品は文芸和寒第49号(図書館にあります)に掲載していますのでご覧ください。

